

いい山、発見！

10月10日連休明けの火曜日、この日登った榛名・烏帽子ヶ岳～鬢櫛山が、ほのぼのとして実にいい山だったので報告したい。

榛名山は上毛三山の一座、二百名山の一座として知名度は高いが山群の総称。最高峰の掃部ヶ岳のほか、水沢山、相馬山、二ツ岳、榛名富士、杏ヶ岳、居岳鞍など気軽にハイキングを楽しめるピークが多く、山好きに人気の山域である。烏帽子ヶ岳と鬢櫛山も榛名山群の一峰で、榛名湖北岸に位置する山である。

ぼくと森田さんは高崎で佐田講師の車に拾ってもらい、榛名湖北岸の登山口に乗りつけた。佐田講師夫人の睦さんが登山口で合流、9時30分烏帽子ヶ岳めざして行動を開始した。コースは明瞭だが、大勢が押しかけている風ではない。

榛名富士にはロープウェイが架かり、西岸には道路沿いに旅館やレストランが並び、観光地になっているが、北岸に回り込むと静寂の度合いが強まる。麓のうどんが良く知られた水沢山や相馬山、掃部ヶ岳などはガイドブックで紹介されているが、ちょっと奥まった位置にある烏帽子ヶ岳と鬢櫛山を紹介するガイドブックは少ない。大勢が押しかけている風がない訳である。

昨今の登山初心者は、旅行会社の登山ツアーに参加する人が多いようだ。少し慣れてくるとガイドブックの中に面白そうな山を見つけ、そのページのコピーを取って、その記述通りにコースを歩いて善しとする。地図上に登ってみたい山を見つけ、自分なりにコースを設定して歩いてみる、という登山者は少ない。

歩きはじめてしばらくしたとき、明るい雰囲気気づいた。付近一帯は広葉樹の自然林だったのだ。あと2週間遅かったら全山紅葉だったのにね、などと話しながら足を上げていたら30分ほどで烏帽子ヶ岳と鬢櫛山の鞍部に着いた。

10分ほど休憩してから烏帽子ヶ岳への登高再開。赤い鳥居をくぐると、山容そのままの急登がはじまる。山頂手前までは手すりのようにロープが張ってあって、登りの手助けをしてくれる。山頂直下はさらに急になり、足場も悪くなる。目の前に下がっているロープに助けられて乗り越すと、傾斜が落ちて笹藪になった。藪の中のトレースを追いかけると、すぐに1,363mの山頂があった。

11時05分、10分休憩して下山、鬢櫛山にむかう。12時鞍部に戻り、10分休んでおにぎりを食べてから鬢櫛山にむかう。「鬢櫛山約30分、後半急坂」と書かれた札が立木に貼られていた。

情緒ある自然林の中のトレースにゆっくり足を運ぶ。後半は急坂になるが、烏帽子ヶ岳にくらべればどうってことない。12時50分、鬢櫛山頂上1,350mに立つ。往路を下る。「いい山だったね」、14時10分、車にもどったときの第一声であった。

いい山探し、はじめませんか。